

会社の組合員に対する労働慣行を無視した 交通費の六ヶ月定期代強行！団交決裂！

団交報告

2009年3月4日、14:00よりNAAビル会議室において団交が開かれました。
会社側出席者は佐野人事部長、中島氏、境氏でした。

■労働慣行を無視した会社側の強行！

会社側の組合の意向を無視した従業員に対する交通費の再申請！

佐野人事部長から「組合員に対する今まで一ヶ月定期の交通費を六ヶ月定期にします。」
との強制執行とも言える発言がありました。

組合側は「やるのは構わないが2001年9月付けの当時の山口人事部長のサインした書面があるので労働慣行を無視している。」と強く抗議し、「お互いに時間を掛けて話し合いましょう」と提案したにもかかわらず、
佐野人事部長は「会社はお願いをしているんです。」とやわらかい口調で言いながらも、すでに各MGR宛に調査をするように命じています。

組合側は、会社の過去の労使交渉を無視したこの行為に対し争議を行う覚悟です。

会社側は今年2月のカニングハム氏のレターからもわかるように会社側の都合の良いようにやっていて、
従業員に負担を強いてばかりいますが、この先我々が目指すべき目標も示さず、この様な暴挙ではこの先ずっと従業員のモチベーションはあがりません。

経緯

① 2000年秋の団体交渉の席上、団体交渉員の萩原氏より「無協約状態の時は、最後の労働協約が有効である」との発言があり、書面に残すように要請したが、誠意のない態度で拒否された。

② 2001年9月25日付け会社発行の書面には「貴組合との合意が成立するまでの間従来通り支給を継続いたします」との記載があり、現在も労働協約通り組合員には施行されている。

③ 2003年6月25日の団体交渉の席上、団体交渉員の境氏より「新たな労働協約が締結されるまでは、旧労働協約が労働慣行として適用される」旨の発言があり、現在も労働慣行として、組合員には旧労働協約が適用されている。

■時勢に合ったマイレージの方程式の早急な作成を求む！

■ <ガソリン価格>7週連続値上がり110.3円 2日現在

■ 3月4日18時45分配信 [毎日新聞](#)

石油情報センターが4日発表した石油製品の小売価格調査(2日現在)によると、レギュラーガソリンの全国平均価格は前週比0.7円高の1リットル=110.3円と、7週連続で値上がりした。110円台をつけたのは昨年12月22日以来で、1月13日の安値(106円)から4.3円上昇した。石油元売り各社の減産で供給過剰感が薄まったことが主な要因。

会社側がなぜ強行に六ヶ月定期をしようとするのか？

組合側も前から言っている「時勢に合ったマイレージの方程式」を作れば六ヶ月定期を受け入れる用意はできています。

10月あたりに会社側は作る予定と言っていますがそこまで組合員に対する六ヶ月定期を待てないのでしょうか？

随時組合員の加入を行っております。

HPアドレスは <http://www.fdxunion.com>

メールアドレスは fdxunion@fdxunion.com